	音楽研究会　　部会記録				
日時	平成３０年１０月３１日（水）　１５：３０～１６：４５				
部会名	鑑賞部会			主任	山田　万里（大岡小）
参加数	６名	司会	望月　竜太（本町小）	記録	栃原　みわ（都田小）

鑑賞部会テーマ

音楽のよさや面白さ、美しさを自ら感じ取り、聴き味わう鑑賞活動

～「聴き味わう」子どもの姿を目指して～

「自分にとっての価値」を見い出し、聴く前と後で変容が見られる姿　（今年度　部会が目指す子どもの姿）

（研究内容）

《研究授業の指導案検討　（模擬授業を通して》　　澤　由美（日吉南小）

① 本学習以前　学習の主題「我が国や諸外国の音楽の特徴を感じ取ろう」を設定する。

・尺八と箏の演奏体験の時間を設け、楽器に親しみをもたせる。

・箏の演奏家・作曲家としての宮城道雄について知る。

→「春の海」の鑑賞に興味をもって、学習できるのではないか。

② 第１時で情景を想像しながら聴くときの発問

・宮城道雄の随筆の抜粋を、そのまま用いる（具体的）か、簡単な説明がよいか。

→簡単な説明の方が想像しやすいのではないか。

例　春の海ののどかな様子

（必要に応じて、鳥の声　櫓をこぐ　漁師の歌声）

③ 第１時の子ども達の学習カードの記述をまとめ、ポイントになるものを選び、第２時の学習をすすめる。

→掲示物や板書は、簡潔に

→色分けしたほうが分かりやすい。

④ 時間配分

・第２時に焦点にするところを絞る。

・音楽を通して確かめる時間を多くとりたい。

⑤ ・〔共通事項〕　旋律　呼びかけとこたえ　速度

→日本ならではの楽器の音色は、曲の特徴として重要だが、今回は、演奏体験で音色のよさを感じ取り、得たことを生かして「春の海」を鑑賞する。

⑥ 第２時　楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことの理由や根拠を音楽の中からみつける。

模擬授業のやりとり　　T：　「のどか」は音楽のどこからそう感じるの？

C：　尺八の長い音から。

T：　では聴いてみましょう。

→旋律の動きや特徴にも気を付けて聴くように促すとよい。

「どのような旋律」「どのような呼びかけとこたえ」「どのような速度」なのか、子ども達と対話しながらすすめたい。

⑦ 第２時　楽曲の特徴やよさについて自分の意見や感想を書く。

・旋律　呼びかけとこたえ　速度　と自分が感じ取ったことを結びつけて書かせたい。

→キーワードを示して書かせる。

・好きな場面を選んで書かせたらどうか。（全体を聴き取っているから好きな場面を選べる。）

・この曲のよさは〇〇である。理由は・・・など文例を出す。

⑧ 教室環境　鑑賞をするときの向き。

普段の座席の向きがスピーカーの向きと合っていない。鑑賞するときだけは、スピーカーの向きに合わせる。